

科目	地理B	単位	2	対象	3年 普通科
目標	1. 自然環境、資源・産業、都市・村落、生活文化等を通して現代世界の特色を探る。 2. 現代の世界を地域(市町村規模、国家規模、州・大陸規模)を通して学ぶ。 3. 現代世界の諸課題(国家間、日本の近隣諸国、環境・エネルギー問題、人口・食料問題、居住・都市問題、民族・領土問題)を理解する。 4. 地理という学習(教科)が世界を捉えるうえで重要であることを理解するとともに、世界の諸問題に対して考え、自分の意見を言える力を身につける。				
☆学習内容・他の科目との関連 ・ 自然地理・人文地理・地誌分野に分かれており、人間生活の営みと地理的事象の相互関連をとおして地理的な物の見方・考え方を学ぶ。 ・ 自然地理の気候や地形の分野は、地学との関連する分野がある。人文地理・地誌の産業や人種・民族・国家の分野では、公民分野または他教科と関連するところがある。					
☆学習のワンポイント・アドバイス ① 地理 B を学習するにあたって、自然分野では「何故・どうしてそうなるのか」という興味・関心を持つことが大切である。 ② 地理的事象を具体的な地域と結びつけ、事象や地域の相互関連を世界的な視野に立って考察するので地図帳や資料集を有効に利用する習慣を身に付ける。					
☆年間の学習状況の評価方法 ◎次の①～⑤を総合的に判断して評価します。 ① 定期テスト、実力テスト、課題テスト、宿題その他小テスト。 ② 授業中の発表内容がよくできているか、積極的に授業に取り組んでいるか。 ③ 授業のプリントや宿題などがきちんと提出されているか。 ④ 課題レポート ⑤ 遅刻、欠課等勤怠状況、日々の授業態度					
☆使用する教科書、教材等 ①教科書(帝国書院「新詳地理 B」) ②地図帳(帝国書院「新詳高等地図」) ③資料集(とうほう「新編地理資料 2020」) ④副教材(とうほう「ニューコンパスノート」)					
☆進路との関わり ① 国公立大学受験者は大学入学共通テストで、各大学学部によっては地歴・公民分野から各 1 科目選択の場合もある。 ② 私立大学の受験で、地歴・公民は学部によって必修または選択必修になる。 ③ 国公立大学・私立大学の試験において「小論文」を課する大学が増えている。地歴・公民分野の出題が多い。					